

# コナジラミ類情報第1号（トマト）

令和7年8月18日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 育苗中、定植前の防除を徹底しましょう

### 1 発生状況及び今後の発生予測

前作（4月下旬）に行った巡回調査（11ほ場調査）において、コナジラミ類成虫の寄生枝率が22.2%（平年9.6%、前年32.9%）で過去10年と比較してやや多い状況であり、近年の発生量は多い傾向にあります（図）。また、名古屋地方気象台8月14日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高いと見込まれており、本種の発生に好適な状況が続く可能性があります。ほ場での発生状況に注意しましょう。

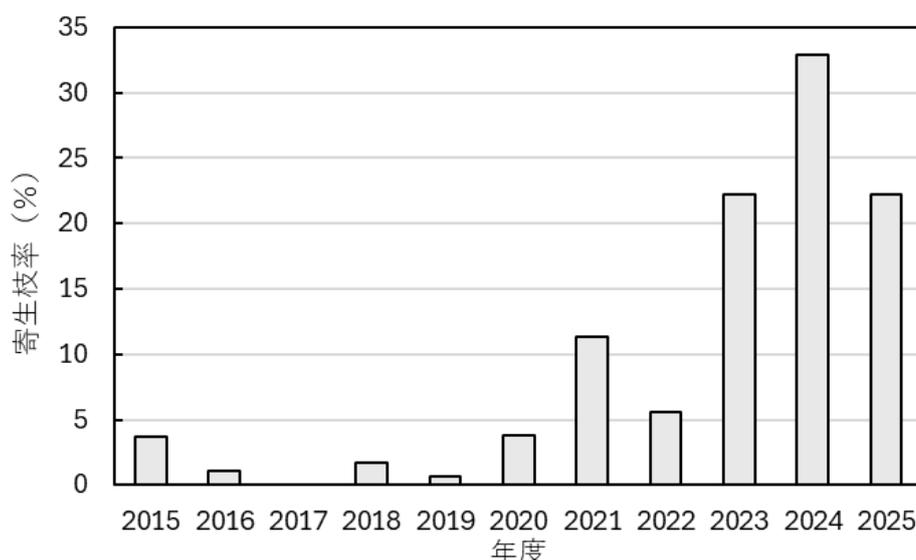


図 4月下旬におけるコナジラミ類成虫の寄生枝率（発生予察調査）

### 2 防除対策

- (1) 苗による施設本ほ内へのコナジラミ類の持ち込みを防ぐため、表を参考に、育苗中、定植前の薬剤防除を徹底しましょう。
- (2) 施設内への侵入を防ぐため、開口部に防虫ネット（目合い0.4mm以下）を展張しましょう。設置してあるハウスについても、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無いか点検し、必要に応じて補修しましょう。
- (3) 黄色粘着板や黄色粘着テープを施設内や周辺部に設置し、成虫を捕殺しましょう。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、IRACコードが同じ薬剤を連続して使用することは避けましょう。また、薬剤抵抗性の発生リスクが低い気門封鎖剤等を活用しましょう。
- (5) 花粉交配用昆虫を利用する場合は、**影響日数に注意**して農薬を選定しましょう。
- (6) タバココナジラミはトマト黄化葉巻病の病原ウイルスを、コナジラミ類はトマト黄化病の病原ウイルスを媒介します。ウイルス感染株は見つけ次第抜き取り、適切に処分しましょう。トマト黄化葉巻病については、耐病性品種であっても感染源となり得るため、感受性品種と同様にコナジラミ類の防除を行いましょう。

表 トマト、ミニトマトにおけるコナジラミ類の主な防除薬剤

| 作物名                  | 農薬名                     | 使用時期       | 本剤の使用回数  | IRACコード                |
|----------------------|-------------------------|------------|----------|------------------------|
| トマト                  | ベストガード粒剤 <sup>※1</sup>  |            | ※2       | 4A                     |
|                      | スタークル/アルバリン粒剤           |            | ※2       | 4A                     |
|                      | ベリマークSC <sup>※3</sup>   | 育苗期後半～定植当日 | 1回       | 28                     |
|                      | ベストガード水溶剤 <sup>※1</sup> | 収穫前日まで     | 3回以内     | 4A                     |
|                      | モスピラン顆粒水溶剤              | 収穫前日まで     | 3回以内     | 4A                     |
|                      | アグリメック                  | 収穫前日まで     | 3回以内     | 6                      |
|                      | アニキ乳剤                   | 収穫前日まで     | 3回以内     | 6                      |
|                      | コルト顆粒水和剤                | 収穫前日まで     | 3回以内     | 9B                     |
|                      | アブロードエースフロアブル           | 収穫前日まで     | 3回以内     | 21A, 16                |
|                      | ベネビアOD <sup>※3</sup>    | 収穫前日まで     | 3回以内     | 28                     |
|                      | トランスフォームフロアブル           | 収穫前日まで     | 2回以内     | 4C                     |
|                      | ディアナSC                  | 収穫前日まで     | 2回以内     | 5                      |
|                      | グレーシア乳剤                 | 収穫前日まで     | 2回以内     | 30                     |
|                      | サフオイル乳剤                 | 収穫前日まで     | —        | — (気門封鎖) <sup>※4</sup> |
|                      | サンクリスタル乳剤               | 収穫前日まで     | —        | — (気門封鎖) <sup>※4</sup> |
| ベミデタッチ <sup>※5</sup> | 収穫前日まで                  | —          | — (成虫忌避) |                        |
| ミニトマト                | ベストガード粒剤 <sup>※1</sup>  |            | ※2       | 4A                     |
|                      | スタークル/アルバリン粒剤           |            | ※2       | 4A                     |
|                      | ベリマークSC <sup>※3</sup>   | 育苗期後半～定植当日 | 1回       | 28                     |
|                      | ベストガード水溶剤 <sup>※1</sup> | 収穫前日まで     | 3回以内     | 4A                     |
|                      | モスピラン顆粒水溶剤              | 収穫前日まで     | 3回以内     | 4A                     |
|                      | アニキ乳剤                   | 収穫前日まで     | 3回以内     | 6                      |
|                      | コルト顆粒水和剤                | 収穫前日まで     | 3回以内     | 9B                     |
|                      | ベネビアOD <sup>※3</sup>    | 収穫前日まで     | 3回以内     | 28                     |
|                      | トランスフォームフロアブル           | 収穫前日まで     | 2回以内     | 4C                     |
|                      | ディアナSC                  | 収穫前日まで     | 2回以内     | 5                      |
|                      | グレーシア乳剤                 | 収穫前日まで     | 2回以内     | 30                     |
|                      | サフオイル乳剤                 | 収穫前日まで     | —        | — (気門封鎖) <sup>※4</sup> |
|                      | サンクリスタル乳剤               | 収穫前日まで     | —        | — (気門封鎖) <sup>※4</sup> |
|                      | ベミデタッチ <sup>※5</sup>    | 収穫前日まで     | —        | — (成虫忌避)               |
|                      | 野菜類                     | フーモン       | 収穫前日まで   | —                      |

花粉交配用昆虫に影響がある剤が含まれるので注意しましょう。成分ごとの総使用回数に注意しましょう。

※1 ニテンピラムを含む農薬の総使用回数は4回以内(定植時までの処理は1回以内、定植後は3回以内)。

※2 定植時までの使用方法についてはラベルの記載に従う。

※3 シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数は、5回以内(定植時までの処理及び定植直後の株元灌注は合計1回以内、定植後の株元灌注は1回以内、定植後の散布は3回以内)。

※4 気門封鎖剤は、散布液がコナジラミ類に直接かかると効果がないため、丁寧に散布しましょう。

※5 ベミデタッチは、殺虫効果はなく成虫に対する忌避効果が主体です。成虫の飛来前や発生初期に使用しましょう。また、7日間隔で複数回散布する必要があります。

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示します。IRACコードの詳細は、

[https://www.croplifejapan.org/assets/file/labo/mechanism/mechanism\\_irac03.pdf](https://www.croplifejapan.org/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac03.pdf) を参照しましょう。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。